

総合的な視野で学区内の情報を集約し、パトロール活動を実施

【広幡学区】地域巡回パトロール

《学区データ》

学区名：広幡学区

世帯数：4,850世帯

（平成26年3月1日現在）

《団体データ》

団体名：広幡学区社会教育委員会青少年部

事業開始年度：昭和48年度



出典：<http://www.do-bohan.or.jp/jisyu/index.htm>

◆取組のきっかけと経緯

広幡学区では、複数の自主防犯活動団体が各地域でそれぞれの目的をもってパトロール活動を行っていました。しかし、広幡学区は市内有数の飲食店並びに遊戯店街を有しており、不審者や空き巣被害、窃盗など犯罪も市内で上位を争う件数であることや、学区内には小中学校に加え、幼稚園や高校もあります。そこで、未然に被害を防止する意味でも、総合的な視野で学区内の情報を集約し、色々な情報を吸い上げると共に、個々のパトロール活動の意見を調整する組織を立ち上げようということとなり、学区社会教育委員会青少年部が主導し、個々のパトロール活動は従来通り継続しながら、それとは別に、新たに地域巡回パトロールを開始しました。

◆事業内容

学区社会教育委員会によるパトロール活動は、学校が夏休みとなり、犯罪件数が増加する傾向にある7月から9月までの3ヶ月間に集中して行っています。

学区と言っても範囲は広く、地域によってパトロールの対象も異なることから、学区を7区域（伊賀北、元能見南、元能見北、井田、広幡、日名北、日名南）に分けて活動しています。学区社会教育委員会青少年部は38名（平成25年度）おり、年代も20代から70代と幅広いです。1区域あたり5～6人で活動を行っており、活動する時間についても、地域性が出ることから、地域のグループリーダーに任せています。パトロールを行う際は、反射ベスト、警棒、腕章を着用し、活動を行っています。

パトロールの内容については、中学校の生徒健全育成協議会などの関係機関と相談して決めており、非行防止のためのたまり場の確認や犯罪防止のための声かけ・挨拶運動を中心に活動し、危険箇所の確認も同時に行っています。

また、最近是小中高生の自転車の乗り方が危ないとの声が地域からあがっていることから、警察と連携して小学校で自転車教室を実施したり、横断歩道のないところを渡らないようにパトロール中に啓発活動も行っています。

活動を終えた10月には、活動中に気が付いたことなどを各地域の団体を集めて意見交換を行う結果報告会を行っています。地域性もありますが、危険箇所の確認など学区内において情報の共有を図り、出てきた要望を学区社会教育委員会青少年部でとりまとめ、関係機関に連絡をしています。

◆成果

パトロール活動を行うにあたり関係機関にも協力要請をしたところ、学校の前では先生が定期的に立ち番をしてくれるようになりました。また、子どもの遊び場となりそうだった危険なマンションの資材置き場についても管理会社と連絡をした結果、きれいに整理されました。このように、パトロール活動や啓発活動により直接的に状況が改善された他、学区内における防犯意識を高めることができました。

また、各地域におけるパトロール活動を行った結果、以前より犯罪件数も減少し、安全安心な地域を形成することができました。



出典：「みんなでつくろう安全・安心の街 地域安全

(愛知県、愛知県警察、愛知県防犯協会)」

◆今後の展望・課題

今後も学区内の防犯意識を高めるため、関係機関とも調整を行いながら、継続して活動を行っていきたいと考えています。人数や予算には限りがあるため、広く学区内での協力者を増やしていきながら、予算の範囲内でより効率的で効果の大きな活動を行っていきけるように努めていきたいと考えています。

こんな工夫をしています！

●総合的な視野で学区内の防犯情報を集約

→ 元々は各地域でパトロール隊を結成し、それぞれで活動をしていましたが、犯罪件数の多い地域であったこともあり、学区内の防犯情報を集約する組織の必要性を感じ、地域巡回パトロールが始まりました。
全体としては3ヶ月という限られた活動期間ですが、10月に行う結果報告会で情報交換を行い、これまで行うことができていなかった学区全域の防犯情報を共有する機会を設けることができたことにより、犯罪件数の減少や地域住民の防犯意識の向上を図ることができました。

注目ポイント！

●パトロールを通して、学区全体の一体感を強くする

→ 従来のように個々で活動をしていると、各地域における連帯感が高まりますが、学区全体として連携を図る機会がありませんでした。しかし、学区全体で地域巡回パトロールを行い、防犯という共通の目的を持って活動を行ったことで、学区のつながりが強化され、コミュニティとしての一体感がより一層強くなりました。
また、パトロールに際し、メンバー以外の住民からも自発的な協力者が出るなど、活動も地域に波及しており、今後より効果の高い活動へと発展していくことを期待しています。